

西播磨文化会館にて法話

7月15日にたつの市にある県立西播磨文化会館にて、ゆうゆう学園の約200名の皆さんの前で「皆さん、幸せですか」をテーマにお話しさせていただきました。法話を行う際には、わかりやすく、おもしろくを心がけておりますが、笑いに包まれた90分となり、大変良い経験をさせていただきました。



仏器磨き

7月27日に檀信徒の方々に仏器磨きをしていただきました。朝早くから午前中をかけて行っていました。大変力のいる作業ですが、皆さんのおかげで仏器もきれいになり、気持ちよく8月の行事に臨むことができました。ご参加の皆さんありがとうございました。斑鳩寺では1月と7月に檀信徒の方々に仏器磨きをお願いしています。ご協力をよろしくお願いします。



太子夏会式・斑灯会開催

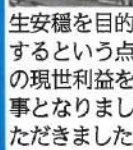
8月15日は突然の雨により20回目の斑灯会は、21日に開催された太子夏会式との同時開催となりました。斑灯会は2年連続での延期となりましたが、21日はお天気にも恵まれ無事に開催することができました。また境内には約50店の夜店

が軒をつらね、多くの方にお越しいただきました。斑灯会・太子夏会式にご協力いただいた檀信徒の皆さん、ふるさとまちづくり協議会の皆様、地域の皆様、商工会の皆様、ありがとうございました。



施餓鬼会厳修

太子夏会式の翌日、8月22日に斑鳩寺では聖徳殿にて施餓鬼会の法要を行いました。施餓鬼とは『救拔焰口餓鬼陀羅尼經』に由来します。施餓鬼は餓鬼道に墮ちた人に布施をすることで救い、さらにその功德によって現世の福德長寿と来世の後生安穩を目的とします。餓鬼道に墮ちた人を救い供養する点とお盆とが結びつき、現在のように皆様の現世利益を祈願し、さらにご先祖さまを供養する行事となりました。暑い中例年より多くの方にご参列いただきました。ありがとうございました。



9月の予定

- 8日 8:00 境内清掃 (檀信徒さん)
- 12日~ お彼岸参り
- 14日 13:30 斑鳩寺庫裏説明会
- 19日 10:00 御詠歌の練習
- 28日 10:00 護摩祈願法要

10月の予定

- 10月は秋祭りのため檀信徒さんの掃除はお休みです。
- 3日 9:30 南総合センター法話 (住職)
- 17日 10:00 御詠歌の練習
- 26日 ゆいマルシェ
- 28日 10:00 護摩祈願法要

各行事への皆様のご参加を宜しくお願い致します。

彼岸ってなに？

9月はお彼岸です。お彼岸ってなに？と聞かれると皆さんは何とお答えになりますか？今号はお彼岸について解説します。
 春分・秋分の日には、国立天文台が作成する『暦象年表』という小冊子に基づき閣議決定され、毎年2月の第1平日に発行する官報での公表をもって、翌年の春分・秋分の日が定められます。他の国民の祝日とは違い、あらかじめ月日が定められていません。

彼岸とはサンスクリット語のパーラミター(波羅蜜多)の訳で「川の向こう岸」という意味です。こちら側の此岸は世俗の世界であるのに対し、彼岸は悟りの世界を表します。お釈迦さまは、現実に増水した大河を前に右往左往する人々に対し、彼岸を比喩的に語る詩句を残されているところから、後世に日常の世俗を越えた境地を表現する言葉となりました。

彼岸の行事は、聖徳太子のころから始まったともいわれていますが、平安時代初期から朝廷で行われ江戸時代に年中行事化されます。お彼岸の習俗はインドでも中国でも行われておらず、日本独自の文化とされています。春の農耕開始に五穀豊穡やそれに必要な太陽をまつり、祖霊の加護を祈る儀礼が彼岸に行われ、しだいに仏教と結びついたとされています。

彼岸は春分・秋分の日を中日として前後に3日ずつの1週間あります。せめて1週間ずつでも身や心を浄め彼岸に至る目的を達成しようと修行し、またご先祖さまをお祀りし供養する期間です。その彼岸の期間中に実践していただきたい修行が六波羅蜜です。六波羅

蜜とは①布施②持戒③忍辱④精進⑤禪定⑥智慧です。この6項目を中日の前後3日間ずつに割り当て、中日にはご先祖さまに感謝する日とする考え方があります。

少し中身を見ていきましょう。まず①布施ですが、布施と聞いてなにを想像されますか？ほとんどの方がお坊さんに渡す御礼でしょう。それも布施ですが、布施には3つあります。財物を与える財施・法を教え安心を与える法施・他人の恐怖を取り除く無畏施です。皆さんがお坊さんに渡すお布施は財施になります。その代わりに我々僧侶が皆さんに施すものが法施です。(法を教え安心を与える…出来ているとは到底思えませんがお許しを)

布施で大切なことは与えるではなく、与える喜びを知ることです。自分の行いによって人から感謝されたときに、喜びを感じた経験は皆さんあると思います。それが布施の重要なところ。布施をしようと意識すると難しいですが、意外と無意識のうちに出てくるのではないのでしょうか。ちなみに布施はサンスクリット語で「ダーナ」です。インドから中国を経て日本に入ってくるにつれて「布施をする人」という意味になっていきますが、それが「旦那」の語源です。つまり、旦那さんは仕事して掃除して洗濯してご飯作って、奥様に尽くして尽くして初めて旦那さんと呼ばれるわけです。現在では「旦那さん」や「奥さん」という言い方は使用禁止語となっていました。「夫」「妻」もしくは「パートナー」だけが使

ついている言葉がそうです。

布施の説明が長くなり、その他の解説は次号以降でさせていただきます。9月は自分の身心を穏やかに保ち、他者に喜びを与え、同じように自分も喜びを感じることができるよう心がけてはいかがでしょうか。

納骨堂・永代供養 受付開始

前号でお知らせしたように、納骨堂(合祀墓)の工事が進んでいます。11月末完成予定です。7月から納骨堂の受付を開始しています。また阿弥陀堂(浄華堂)に永代供養棚を設置しました。毎日の回向法要に合わせて永代供養をされた方の供養をいたします。どちらも宗派は問いません。詳しくはお寺にお問い合わせください。



斑鳩寺では毎朝6時30分から聖徳殿にて朝勤行を行っています。どなたでもご参加できますので、中に入ってお焼香してください。(7・8・21・28・30日は本堂です)

次の「和」発行は11月の予定です。お楽しみに。

